

事業所における自己評価結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和 2年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		規定に基づき行っている。
	②	職員の配置数は適切である	○		基準以上に配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		規定に基づき行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		各エリアを区切り、子どもたちが活動しやすくしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○	第三者評価は実施していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、内部研修とも積極的に取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者に家庭の様子をモニタリングし、事業所での様子や課題等を職員間で話し合い、保護者と面談して支援計画を作成。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	○	個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合い、立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの状況により柔軟な対応をしている。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況を随時話し合い、計画を作成している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録を取り、支援方法を話し合っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最長6カ月、必要に応じて期間を短縮して行っている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		随時連携を取っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		図っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携を取っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		有明圏域の児童発達支援センターと連携し、定期的にこども総合療育センターの支援及び研修を受けている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加し、連携を図っている。
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳、電話連絡、面談にて保護者と話し合いを行っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		発達支援センターわっふると連携を取り行っている。
	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、保護者研修会時にて説明を行っている。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時相談を受け付け、助言を行っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会はないが、2か月に1回保護者研修会があるので、その際、保護者同士の連携を支援している。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的な会報は発行していない。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分配慮を行っている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には周知しているが、保護者には不十分。
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通じ医師からの指示に基づき対応している。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例集は作成していないが、日々の朝礼・終礼で話し合い、共有している。	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		行っている。	
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			身体拘束は行っていない。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和 2年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつ

保護者等数（児童数 24） 回収数 24

割合 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	2		1	他の施設を知らないの十分かどうか分らない。	一人当たりの規定の広さの十倍以上の広さで実施しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2		6	適切と思っている。	規定以上に配置しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	4		2	利用している本人が理解できるのであれば適切と思う。	活動エリアを構造化し、理解しやすい様に配置しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	2		2		
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23			1		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	2		4		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	3	2	5		
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23			1		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	1		3		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	3	1	6	(無回答→1)	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	23			1	毎回連絡帳での細かい所までの報告があり、とても助かります。相談にも返信があり助かります。	今後も継続します。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	2		1	(無回答→1)	

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	6	1	7	参加したことがないのでわからない。話を聞くかぎりではされていると思う。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1		4		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1		10	(無回答→1)	HPにてアップしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21			3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	6	1	9	(無回答→1) 訓練が実施されているかはわからない。	緊急時の訓練は年に1回職員のみで実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	5	1	11	たぶんされていると思う。	避難訓練は1年に2回実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	4			本人の中でヒットしている活動がある時は楽しみに通所します。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	24				少しの事でも褒めていただいで私も参考にしています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)【放課後等デイサービス】

公表：令和2年 3月 1日

事業所名こども発達支援センターどーなつ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		多少の段差はあるが、利用者の歩行に支障がないように努めている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価はしていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修、内部研修とも積極的に取り組んでいる。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者に家庭の様子をモニタリングし、事業所での様子や課題等を職員間で話し合い、保護者と面談して支援計画を作成。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で話し合い、立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの状況により柔軟な対応をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況を随時話し合い、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を取り、支援方法を話し合っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との連携は随時行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			随時行い、必要に応じて話し合いを行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			有明圏域の児童発達支援センターと連携し、定期的にこども総合療育センターの支援及び研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要に応じて支援を行っている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、保護者研修会時に説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時相談を受け付け、助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はないが、2か月に1回保護者研修会があるので、その際、保護者同士の連携を支援している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的な会報は発行していない。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			

非常時等の対応	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			職員には周知しているが、保護者には不十分。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか					
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○				

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）
【放課後等デイサービス】

公表：令和2年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつ

保護者等数(児童数27) 回収数27 (割合 100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	5				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	12			(無回答→1)	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	26	1			事業所で教えてもらった事をときどき家で子供がやってくれます。(洗濯たたみ・皿洗い)	自立支援に力を入れています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	6				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	13	2		(無回答→1)	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	2			(無回答→1)	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	1			いつも連絡帳にたくさん様子を記入していただいてありがとうございます。	今後も継続します。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	2				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	10	1		(無回答→1) 講演会に参加しない限り、他の保護者の方とお話する機会がないのが残念です。今は以前その時に知り合った方と偶然外でお会いし、個人的に会って話をしていますが、会う機会があればいいなと思われている方もいるかもしれません。	保護者どうしが交流できる機会を前向きに検討します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	5				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	3				

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	5	2	(無回答→1)	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	5		(無回答→1)	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	7	2	(無回答→2)	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	10	2	(無回答→2)	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	7	1	(無回答→2) 家に居たがるが、夏休みなどは映画観賞を楽しみにしている。	お楽しみ会、水遊び等も実施しています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	6		(無回答→1)	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和2年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつあらお

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		規定に基づき行っている。
	② 職員の配置数は適切である	○		規定に基づき行っている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		規定に基づき行っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		各エリアを区切り、子どもたちが活動しやすくしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回からHPで公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は実施していない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、内部研修とも積極的に取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者に家庭の様子をモニタリングし、事業所での様子や課題等を職員間で話し合い、保護者と面談して支援計画を作成。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合い、立案している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの状況により柔軟な対応をしている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況を随時話し合い、計画を作成している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録を取り、支援方法を話し合っている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		随時連携を取っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携を取っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		今年度は、頻繁に支援会議に参加し、学校側保護者や子どもさんを支援している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		有明圏域の児童発達支援センターと連携し、定期的にこども総合療育センターの支援及び研修を受けている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加し、連携を図っている。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳、電話連絡、面談にて保護者と話し合いを行っている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		相談形式での支援を行っている。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、保護者研修会時等で説明を行っている。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言等を行っている	○		随時相談を受け付け、助言を行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会はないが、2か月に1回保護者研修会があるので、その際、保護者同士の連携を支援している。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的な会報は発行していない。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分配慮を行っている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には周知しているが、保護者には不十分。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通じ医師からの指示に基づき対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例集は作成していないが、日々の朝礼・終礼で話し合い、共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			身体拘束は行っていない。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

【児童発達支援】

公表：令和2年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつあらか
割合 100%

保護者等数（児童数30） 回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	7		4	活動中の本人を見たことがないのであまり分からない。狭い空間の中で工夫して活用されていると思う。	規定以上の広さは確保していますが、南関の事業所に比べると半分の広さです。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1		4	困難だと思うが、専門性の職員数が増え、受け入れ数が増えたら…と思う。	今年度は、一人当たりの利用回数を減らし、より多くの子どもさんを受け入れます。
	③	生活空間は、本人に分り易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	2		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29			1		
適切 な支 援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	1		4		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	27	2		1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20	3	1	6		
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	2				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	1				

保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	21	5	1	3		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29		1		意見を書くのは難しく、また直接お話を伺いに行きます。	いつでも予約を入れてお越してください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	4				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	12		7	保護者にその意識が乏しいと思うので連携は取れていないと思う。	今年度は保護者どうしの交流の機会を前向きに検討します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	4				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	2			連絡帳を丁寧に詳しく書いてあるので分かりやすいです。	今後も継続します。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	3		6	(無回答→1)	
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28			2		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	8	1	11		
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	7	1	17		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	28	1		1	一度も嫌がることなく行っているようなので嬉しいです。嫌がることなく行っているのが楽しんでいると思う。利用回数がまだ少ない為、行きたくない気持ちが勝ってしまっている為、回数を行く度に慣れて行って欲しいです。	現状維持に努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	29	1			子どもが利用前後では成長の幅が違う。 保育園の生活に協調性が出てきた。送迎して頂いているので本当ありがたいです。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)【放課後等デイサービス】

公表：令和2年 3月 1日

事業所名こども発達支援センターどーなつあらお

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		多少の段差はあるが、利用者の歩行に支障がないように努めている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価はしていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修、内部研修とも積極的に取り組んでいる。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と面談、電話連絡、連絡帳等で子どもさんの状態を確認して作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個々に有効なアセスメントツールを検討し進めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で話し合い、立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの状況により柔軟な対応をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況を随時話し合い、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日行っている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を取り、支援方法を話し合っている。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との連携は随時行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			随時行い、必要に応じて話し合いを行って。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象児がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			有明圏域の児童発達支援センターと連携し、定期的にこども総合療育センターの支援及び研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要に応じて支援を行っている。
保護者への説明責任	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、保護者研修会時に説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時相談を受け付け、助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会はないが、2か月に1回保護者研修会があるので、その際、保護者同士の連携を支援している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			

非常時等の対応	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的な会報は発行していない。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員には周知しているが、保護者には不十分。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			実施している。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年 3月 1日

事業所名 こども発達支援センターどーなつあらお

保護者等数(児童数18) 回収数18 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3			人数を把握していない。	規定以上に配置しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	6	2		階段はあるが、エレベーターを見たことがない。ゆっくりと中を見たことがない。	事業所の外部にエレベーターを1機配置しています。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	18					
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	15	3				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7	5		学校の交流学級はあるが、放課後等デイサービスではないのでは？	今のところ行っていません。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18				いつも連絡帳を丁寧に書いてもらっているのでよく分かる。いつも細かく情報共有できている。	継続します。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	4	3		父母の会などあるなら参加してみたい。	今年度は、保護者どうしの交流の機会を前向きに検討します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18					
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	6	2			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18					

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	6	2		1年間に1回職員のみで実施しています。	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	7	1		避難訓練の実施を聞いたことがない。されていると思うが、よく分からないので「どちらでもない」にした。	1年間に2回、利用者を含め避難訓練を実施しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	2	1		とても楽しみにしています。毎日でも通いたくらい楽しみにしているみたいです。	今後も支持されるよう努めます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18				いつもありがとうございます。これからもよろしく願います。	今後も支持されるよう努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。